

2022年10月24日

(一社) 中国経済連合会
(一社) データクレイドル
(一社) やまぐちGISひろば

中国地域の「防災道の駅」オープンデータ化推進について

この度、広島県で初の「防災道の駅」に選定された「道の駅・西条のん太の酒蔵」(広島県東広島市)において、防災情報のオープンデータ化に向けた取り組みを開始することとなりましたのでお知らせします。

《狙い》

(一社) 中国経済連合会(会長 清水 希茂)、(一社) データクレイドル(代表理事 大島 正美)は、近年、連携して中国地域のオープンデータ利活用の推進に取り組んでいるが、山口県において、「防災道の駅」のオープンデータ化に取り組んでいる(一社) やまぐちGISひろば(代表理事 三浦 房紀)と連携し、中国地域における地域防災と広域防災のあり方について、検討を進め、提言を取りまとめることを目指すこととした。三者は、「西条のん太の酒蔵」にとどまらず、今後も継続して中国地域における安心・安全に貢献するため、「防災道の駅」のオープンデータ化を推進していく。

《経緯》

2021年10月25日に開催された「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」(中国情報通信懇談会事業 運営委員長 相原 玲二 広島大学学長特命補佐)において、「道の駅・みやま公園」(岡山県玉野市)、「道の駅・ソレーネ周南」(山口県周南市)における「防災道の駅」のオープンデータの活用事例が紹介されたことを契機に、広域的な防災情報ネットワーク充実の観点から、広島県で初めて「防災道の駅」に選定された「道の駅・西条のん太の酒蔵」のオープンデータ化に取り組むこととしたもの。

《第一回会合の概要》

1. 日時 2022年10月21日 15:00~17:00
2. 場所 「西条のん太の酒蔵」広島県東広島市
3. 参加団体 (一社) 中国経済連合会, (一社) データクレイドル, (一社) やまぐちGISひろば, 広島大学, 広島県, 東広島市
4. 意見交換項目
 - ・道の駅「西条のん太の酒蔵」紹介とオープンデータ案
 - ・先進地域のデータ活用事例(広島県「DoboX」提供データの紹介)
 - ・ソレーネ周南, みやま公園オープンデータの更新・拡充
5. 今後の進め方

- ・データ活用検討ワークショップを年内1~2回開催し、「防災道の駅」オープンデータの活用を検討。
- ・防災道の駅「西条のん太の酒蔵」のオープンデータ化、及びlocalwiki「全国防災道の駅」や、中国地域防災オープンデータMAPなどのHPによる公開。

【参考1】“「防災道の駅」オープンデータ”とは

- ・国土交通省が、令和3年(2021年)6月に全国39か所を「防災道の駅」に選定したこと受け、標準化に向けたデータ定義を行ったうえで、現地取材や情報収集をもとに二次利用可能なオープンデータを作成し、防災に役立つ情報として、広く一般に公開する取組み。

***公開データの例**

- ・施設・設備情報：
駐車場・駐輪場の収用台数、ガソリンスタンドの有無、EV充電設備の台数、自動販売機の台数、無線LAN・公衆電話の有無、トイレの種類(和・洋・乳幼児)・機能、宿泊施設・シャワーの有無 ほか
- ・防災・災害対応等情報：
耐震化、非常用電源、貯水タンク、備蓄倉庫、想定収用人数、バリアフリー情報、災害種別(洪水、崖崩れ、高潮、津波、火山等)対応状況 ほか

【参考2】“中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル”とは

- ・地方公共団体のオープンデータへの取組みを加速し、中国地域のオープンデータの利活用推進を図るため、好事例の共有や意見交換を行う場として2019年度に設置。
(事務局：総務省中国総合通信局、(一社)中国経済連合会、中国情報通信懇談会)

[本件に関するお問い合わせ先]

中国経済連合会(担当：清地)	TEL082-242-4511	FAX082-245-8305
データクレイドル(担当：大島)	TEL086-427-0885	FAX086-441-1380
やまぐちGISひろば(担当：三浦)	TEL090-6849-3162	FAX0836-51-9568

以上